

令和6年度

信州ESDコンソーシアム成果発表&交流会

信州大学教育学部附属長野中学校1学年（フードロスチーム）への質問・感想

(生徒のみなさんへ)

- ・ フードロスと食品ロスと同じようにとらえていたので、厳密には違いがあるということに驚きました。フードロスの解決を食べるということではなく、紙に変えるという方法を選んだことがオリジナリティーがあっていいなと思いました。プラスチックをつくるという発想は全く思いつかなかったため、すごいなと思いました。
- ・ フードロスに取組み様々な試行を実践していました。残野菜から紙を作る、残牛乳からプラの小物をつくるなど、中学生らしい斬新なアイデアを実行しているのはすばらしい。試行する大変さと大切さを学べたと思います。
- ・ フードロスト食品ロスの違いを知りました。今回の野菜の皮を紙にするデメリットはセルフで行くとコスパが悪いということでしょうか。企業の方とコラボできたらよいですね。応援しています。
- ・ 私は「食品ロスとフードロスの違い」知りませんでした。それぞれを調べてくれたので聞いて面白かったです。フードロスでは、余った野菜の皮から紙を作ってみるという活動をしていてすごいと思いました。実際に企業の方に聞いてみて、限定的なものではなく、実用できるものを作ることができればより良いと思いました。また、牛乳の再利用も面白かったです。失敗しても何度もやってみるというのは、問題解決においてとても大切なことだと思いました。さらには服の再利用もしていて、環境についてよく考えられた活動だなと思いました。
- ・ 教育実習で給食の時間を過ごしましたが、確かに牛乳の残りは多いと思ったので、そこに目を付けたのはさすがだなと思いました。プラスチックを作るのは目から鱗でした。牛乳は石鹸などに活用できたりするので、新たな選択肢も視野にこれからも頑
- ・ フードペーパーを自分たちで作る方を考えて作ったことは素晴らしい経験だと思いました。フードロスに向けて自分たちで主体的に行動できていたと思いました。
- ・ 問いや試行と失敗を重ねていく中で、みなさんの活動や、想い、そして再生産された問いがアップデートされているんだと感じました。課題のところで、企業の方に聞けなかったことを挙げていましたが、私は企業の方に聞かなくてもいいのではないかと思います。企業の方に聞くことで、どんないいことがあるのでしょうか。ぜひ、企業の方に聞く際にはねらいを定めて、次の活動につなげてほしいと思いました。
- ・ フードロスと食品ロスは違うということに驚きました。フードペーパーは実用性がありましたか。プラスチックづくりではトライアンドエラーを繰り返して改良し、成功の秘訣を導き出している過程が素晴らしかったです。給食では牛乳や野菜で多くフードロスが起きているとわかりました。しかし、先日給食の残りを調理して捕まったニュースがあったように、給食の残りはどうすることもできず、根本的解決にはならないと思います。どうすれば給食のフードロスを解決できそうですか。
- ・ 素敵な発表ありがとうございました。フードロスや食品ロスを減らすために、フードペーパーやプラスチックなど、使えるものに変えようと試行錯誤した様子から、やる気を持って活動に取り組んでいる様子が伝わってきました。
- ・ 素敵な発表ありがとうございました。フードロスを改善するために、何が余っているのか、どうすればその食材を活用できるのかを調べ、考え、実行することが出来ているのがとても良いと思いました。また、失敗から何が原因だったのかを考え、条件を変えて再チャレンジする姿勢が素敵だと思いました。
- ・ フードロスと食品ロスの違いについて初めて聞きました。用語の意味も踏まえた意義のある活動だと感じました。現代の問題を踏まえて、自分たちの力で何ができるのか、できることを考え、実行している姿が印象的でした。たくさん試行錯誤をして今回の発表に挑んでいることがとてもよくわかりました。今回の活動を通して得た知見を、今後の学習にも活かしていただく
- ・ 自分たちで思いを持ち、問いを立て、実際に形にできたという意味では、大きな手ごたえを得ることができたのだと思いました。それは表情にも出ていたと感じていて、これからも皆さんが様々なことに問題意識を持ち、解決のために動いて行ってくれたら、世影響が社会全体に広がっていくのではないかなと思いました。
- ・ 食品ロスとフードロスが厳密には違う意味であるということに驚きました。どちらも食品であるので、食べたり肥料にしたりして問題の解決に向かっていくのかなと予想していましたが、紙をつくったりプラスチックに変えたりするということは、全く思いつかなかったのですごいなと感じました。
- ・ 私がまずおどろいた点が「食品ロス」と「フードロス」がそれぞれ違う意味を指していたことです。これまで私はなにも知らずに使い分けることもなく両者を使ってしまっていたため、一番最初の説明からすごく勉強になりました。そして今回はフードロスに着目した内容を発表していただき、ただ問題を指摘するだけでなく、多くの食べ物が無駄になってしまっている現状を、「どうすれば減らせるのか？」という目標を持ち、具体的な取り組みを考えていた点がとてもよかったです。特にオリジナルフードペーパーや視覚的にも惹かれるすごく可愛いものに変身させて、捨てずに有効活用することで身近な社会貢献をしているところがすばらしかったです。信州大学教育学部附属長野中学校1学年（フードロスチーム）のみなさま、素敵な発表をありがとうございました。
- ・ フードロスに対する解決策として、紙づくりやプラスチックづくりを行っていたが、どちらも知らなかったのがとても面白かったです。どちらも作った後、それをどうするかを考えることができたさらに活動の意義が出てくると思います。また、今回は食べ残しを活用するものでしたが、問いとして提示されたのは「給食がつくられる前に減らせるフードロス」であったので、そちらの解決策もぜひ考えてみてほしいなと思いました。

- ・ 発表ありがとうございました。フードロスに関する知識を深め、精力的に働きかけている成果が存分に発揮された発表だったと思います。フードロスの対策と言えば、食べられる量だけ購入、調理することなどが挙げられますが、確かに給食だとこれらの対策が難しいかと思えます。そこで、フードロスを活用して作品をつくるという視点は新鮮で、大変勉強になりました。まずは、フードロスの現状を認知してもらうというところから始め、徐々にフードロスの根本的な削減につながっていけばよいと感じます。今後も継続的に活動していただければ幸いです。
- ・ 信州大学教育学部附属長野中学校1学年、フードロスチームの皆さん、素敵な発表をありがとうございました。
身近な「給食」から「フードロス」に着目し、その解決のために方策を立てる姿が、とても素晴らしいと感じました。
実は、私の中で、皆さんのチームが、本日の発表の中で最も興味があるチームでした。なぜかという、私自身も小学生の時の総合の時間に、「フードロス」についての学習を行ったからです。
皆さんの発表の中で特に印象に残ったのは、調理過程で発生したものを利用した制作活動です。実際的に残飯を減らすために、ただ「たくさん給食を食べよう」とするのではなく、生徒一人一人の「食への関心を高める」というアプローチをする点が素晴らしいと感じました。そうすることで、きっと、このような活動が終了してからも、一人一人の意識で残飯が減ったり、フードロスが減少したりするのだということを感じました。
私自身も、日々残飯や無駄なロスがないように注意していますが、これからはさらにその意識を高めたいと思いました。また、皆さんのように、食に対するアプローチを少し違った視点から考えるのも良い方法であると感じました。
貴重な発表をありがとうございました。
- ・ フードペーパーは耐久性や一般的な紙と比べてどのような特徴があるのでしょうか。恥ずかしながらフードペーパーは初めて聞いたので興味があります
- ・ フードロスはとても大きな問題であると思いますが、それを考え実行したみなさんの活動はとても素晴らしいと思いました。また自分たちで作った紙を表彰状に使ったということも、他の活動に活かすことが出来ているという点で、とても素晴らしいと思いました。実際に何度もプラスチックの試作を重ねていることも感動しました。「作ったものを学校に取り入れる」というみなさんの考えは、これからすごく大事になってくることなのではないかと思いました。ぜひこれからもさらに良いものを作ってほしいと思います。発表ありがとうございました！
- ・ フードロスと食品ロスの違いについて分かった。フードペーパーを作ったり、それを実際に使ったりとても素晴らしいと思った。
残ったものを何かに変えるという考えはとても多雨説だと感じた。プラスチックを作るために試行錯誤を繰り返しており、実際
- ・ 自分も日本という国は食べ残しなどのフードロスは多いと知っていた。しかし、食べる前に捨ててしまう部位については考えていなかった。今回の活動のようにどのように無駄をなくしていくのかという事が重要であると思った。
- ・ 学校給食で余る食材を活用するという、身近な問題に目を向けた点がとても良かったと思いました。特に、牛乳からプラスチックを作るというユニークな試みに挑戦し、試行錯誤を重ねながら短時間で乾燥させる方法を実際に行ったことは、科学的な探究心を感じました。給食の食品ロスを別のものに作り替えることで、廃棄を減らし、新たな価値を生み出すという発想が素晴らしいと感じました。この取り組みがさらに広がり、他の学校や地域でも活用できるようになると、より社会に貢献できるようになる
- ・ フードロスと食品ロスの違いを初めて知りました。昔、バナナの皮を使って紙を作ったことがあるのですが、他の野菜を用いてフードペーパーを作ることができるのかと驚きました。ただ、料理を作る過程での野菜の皮などのゴミは食品として活用することは難しくフードペーパーもあまりコストが良くないので、現実的な案としては肥料がいいのかなと考えました。
- ・ フードロスを減らすために自分たちでわからないなりに活動を行う姿勢、とても素晴らしいと思います。また、既存の活動を活かして、自分たちのより身近な部分で解決する考えも良いと思いました。また、プラスチック制作という、一歩踏み込んだ活動にもとても感銘を受けました。
- ・ 「フードペーパー」という言葉を初めて知って、食べ物から紙が作れることにとても驚きました。「残った食べ物を何かに作り替える」という考えが誰も無理をする必要がなくとても良い考えであると思いました。また、日常生活で使えるプラスチックを作っていて環境に二重にやさしい活動であると思いました。
- ・ フードロスと食品ロスの違いを伝えてくれたことでどのようなごみを有効活用しようとしているのか分かりやすくてよかった。フードロスからどのようなものが作れそうか予想をして進めていたのがいいと思った。実際に作ってみて感じたことを書いて
- ・ フードロスの定義を決め、そこから活動の軸を決めている点がわかりやすかった。身近でできることとして髪を作る。プラスチックを作る。このような自分たちでできること、かつ、作ったものが身近で応用することができるものという点がとても良い
- ・ 問いの変化がとても面白く、他にもどんどん問いが増えていくことに驚いた。しっかりと探求のサイクルを実践できており、私
- ・ が実際に中学生のころこのような活動を行っていたのか少し恥ずかしかった。また、取り組む活動の目的ときっかけが具体的に、過程で迷うことなく進めることができている。
- ・ フードロスと食品ロスの違いがあることに驚きました。言葉の意味をハッキリと捉えて使う言葉を選べていて良いと思います。またプラスチック作りでは失敗の度に原因を考え対策ができており、その細かい試行錯誤が成功に繋がったのかなと思いました
- ・ 食べ残しを減らすのではなく、別の視点からフードロスを減らしていくのが、面白いと感じました。牛乳からプラスチックを作ることができるのは全く知らなかったことだったし、作ったプラスチックにカビが生えるというのも意外性があって面白かった
- ・ 新たな視点でフードロスを対策する活動が、持続可能な社会を目指すとともに、自身の思考力を膨らませることに繋がると感じました。この活動を様々な社会問題とあわせて多様な問題に取り組み、解決して欲しいと思いました！

- ・ 今回の発表を聞いて私は、身近な給食におけるフードロスの削減を目標に掲げているのが素晴らしいと思った。身近であるからこそ課題などがより身近に感じられ」自身の問題としてとらえられると思い、いい課題であると感じた。また作成したフードペーパーやプラスチックなどを学校内で使用することは他学年など校内にもフードロスの削減の意識を持たせることができると思い、考えが広まるきっかけになると思いいい探究であると感じた。
- ・ 学校給食について考えるという視点が、身近な問題について考える観点として良いものであると思いました。学校給食については食品ロスの問題は長く扱われてきたものであると思いますが、残す対策ではなく残ったものを変えるという発想が今までとは違うもので興味深かったです。
- ・ フードロスを減らそうという活動について、私はどうしても「食品」というイメージから離れられません。しかし、フードロスチームの皆さんは食品から紙やプラスチックを作るなど、食べ物という概念から飛び出した発想から活動を行っていてとても新鮮で面白く感じました。これからも頑張ってください。
- ・ 私が持っていたフードロスと食品ロスの認識は曖昧なものでした。食品について無駄を出さないようにする意識はありましたが、社会全体において食品の無駄を減らすにはどうすればよいか、という問題意識を持つことが重要であるということを発表が
- ・ 身の丈に合った自分たちができることを見つけて実践してよいと思いました。長野がフードロスが多いということは初めて知りました。少しでもフードロスを減らせるようになればいいなと思います。これからも応援しています。
- ・ 自分たちで発問を行い、その発問した内容を個別で回答を行っていくような形で発表を行い、スライドにも最小限の文字数で、分かりやすくまとめられていてよかったです。また、発表のスタートも工夫して始められていてよかったです。
- ・ フードロスの削減のための活動を調べて実際にやってみて、これはどうなのかを検討するという活動はとても実践的で素晴らしいと感じました。食品ロスに対しては現場の声を聴くことから活動が始まっていて、実用性のあるものに有効活用されていて、何度もトライ＆エラーを繰り返す姿勢が素晴らしいと思いました。
- ・ 本来捨てられてしまう野菜の皮を紙にしてみるという発想がおもしろいと思ったし、自分たちで実際に紙を作ってみることで、生徒の皆さんが実践的な体験を通じて環境へ配慮する意識を高めることへつながったのではないかと感じた。
- ・ フードロスと食品ロスの違いを知らなかったので、知ることができてよかったです。身近なものに対する問いから、計画を立てて、解決に向かっていたので、探究活動が行えていると思いました。成果と課題がまとめられていて、今後の活動に生かせる
- ・ 給食の残りという身近なものに目をつけ、フードロスを減らすために紙づくりやプラスチックづくりなどに進んでチャレンジしていたことが印象に残りました。プラスチックを作っていく中で失敗することもあったけどその失敗を生かし、フィードバックを繰り返して成功させたことにとっても感動しました。また、成功で終わらず次の課題も見つけていて良いなと思いました。これ
- ・ フードロスと食品ロスの違いを知っているかという疑問から入っていて良かった。自分の手でフードロスを減らす実感が得られたということについて、これはとても大切なことだと考える。実感を得られることでその後も活動しようというモチベーションにつながるのでこれからも頑張ってください。
- ・ フードロスに興味を持つ視点がすごいと感じた。活動の目的として人によって食べられる量が違うことに注目していたところがすごいと感じた。活動の成果とともに課題点をまとめている点がこれからの活動に生かせそうで良いと感じた。フードペーパーを作るステップが分かりやすくまとまっていますとすごいと感じた。
- ・ まず、フードロスを減らすことについて「給食が作られる前に減らせる方法はないか」という面白い角度からのテーマでとても興味深い内容でした。食品ロスについても回数を重ねていくことでプラスチックを作り上げていたので素晴らしいと感じた。今回見つけた課題を今後の活動に活かしていただきたい。
- ・ フードロスを実践に実践していて素敵だなと感じました。これからも頑張ってください！
- ・ スライドがとても見やすかった。身近な給食を使って探求をしているのがよいと思いました。よくなかった点を話し合って改善している進め方がとてもよいと思いました。食品ロスを減らすだけでなく、生活にプラスになるものを作っているのがよいと思
- ・ まず、フードロスという言葉の定義について明確にしている点がわかりやすく素晴らしいと思いました。成果と課題について簡潔にまとめられているのもよいと思いました。失敗した際に何が原因だったかを模索し、次にいかせているのが素晴らしいと思いました。何を学んだか、どう思ったかが述べられている点も良い発表だなと思いました。
- ・ 実際の課題を調べてその課題解決をするとともに、学校生活の中と関連付けているのがすごいと思いました。紙やプラスチックなどを自分で作るという活動もなかなかできないことだと思うので良いと思いました。フードロスは身近な課題だと思いつなかなかなかどうすれば良いのか考えるのが大変ですが、素敵な取り組みになっていると思いました。
- ・ スライドがとてもきれいにまとめられていて、わかりやすくよかったですと思う。自分たちにできることをかんがえてまとめることができているすばらしいと思った。今問題になっていることについてしっかり考えられていていいと思う。
- ・ 給食を残さず食べることができていることが素晴らしいと思った。食べ物を無駄にしないために自分たちができることをしたうえで、更なる活動に取り組むことは良いことだと考えた。野菜の皮も食べることができると、家で調理をするときは皮を食べる工夫をしてみるとよいかもかもしれないと考えた。

- ・ 付属長野中学校のフードロスチームの活動はとても意義深いものだと感じました。食品ロスを減らすために、給食の残り物や捨てられる部分を利用して新しいものを作り出すというアイデアは、持続可能な社会を目指す上で非常に重要だと思います。野菜の皮からクレヨンや紙を作るという発想は、リサイクルを促進するだけでなく、創造的な解決策を提供していると感じます。また、給食で余る食材を利用したプラスチックやフードペーパーの制作にも取り組んでいる点は、実際に食品ロスを削減し、地域社会への貢献にもつながる素敵な取り組みだと思いました。成果として、食品ロスを有効活用できたことは、努力の証であり、活動がどれだけ社会に良い影響を与えられるかを示していると感じました。課題として挙げられている時間や資源の制約は現実的な問題であり、今後の活動において改善を図るポイントでもあると思います。この活動を通じて得た知識や経験は、参加者自身の意識を高めるだけでなく、学校全体のフードロス問題へも良い影響を与えたいと思います。今後も引き続き、創造的かつ持続可能な解決策を模索し、地域や学校に貢献して欲しいと思いました。
- ・ 付属長野中学校1年生のフードロスチームの皆さんは、フードロスと食品ロスの違いに着目して活動を展開していました。「減らせるフードロスはないか」ということを問いとして掲げ、野菜などからフードペーパーを作成する姿が印象的でした。自分の手でフードロスを減らすという難しさを実感したと話されており、自分も普段の生活に気を付けようという意識をもちました。また、「残ったものを何かに作り変える」ことをキーワードに取り組んだプラスチック作りでは、何回も試作を重ねていることが分かり、そのような工夫を凝らすことによって本来廃棄されるはずだった食材に新たな価値を生み出すことができる点が素晴らしいと感じました。また、小さな飾りをつけることで人参などの身近な食品を有効活用していた点も非常に良いと思います。今回の実践で作ったフードペーパーやプラスチックを学校内や地域の人々に広める活動を行うことで、より多くの人々がフードロスに関心を持つきっかけになるのではないかと感じました。限られた資源を大切にしながら、今後も活動を継続してほしいと思いました。
- ・ フードペーパーや牛乳からバイオプラスチックを作る取り組み、本当に素晴らしいと思いました。食品廃棄物を新しい価値のある資源に変えることの良さだけでなく難しさも学ぶことができました。これからも創造力を活かし、環境問題の解決に向けて挑戦を続けていってください！
- ・ 視覚的効果がいいスライドだなと感じた。ただ問いに対しての答えが少し見難かったのでスライドに1つの問いでもいいと思った。トライアンドエラーを繰り返してより良くするためにはどうすればいいか、考えている部分が総合的な学習にふさわしいと
- ・ 私が中学生のころ給食委員をやっていて、残飯の多さにもったいなさをいつも感じていました。みなさんが発表していた通り、給食の残りを減らすのは難しいことだと私自身も思うので、残った給食を新しいものに作り替えるというアイデアは、とても素晴らしいと感じました。実際の写真で、残った給食がプラスチックになる様子を見て、とても驚きました。この活動を通して、フードロスを大幅に減らせれば良いですね！
- ・ 食品を残さないことで食品ロスを減らそうという取り組みは、これまでも注目されており給食が作られる前のフードロスに注目したのが面白いなと思いました。
スライドを変えるまでのスピードが速く、内容を十分に理解できていないまま話題が進んでしまった点が少しだけ残念でした。もう少し落ち着いて発表するとさらに良いと思います。プラスチックを作る際、失敗の原因を向き合い、成功させるために何が必要なのかを徹底的に検証している部分が良かったと思います。牛乳からプラスチックを作ることができるということは新しい
- ・ フードロスと食品ロスの違いは知らなかったのですが、皆さんの発表を通して知ることができて勉強になりました。また、野菜の皮や残った牛乳から紙や小物を制作していた姿が印象に残りました。給食は多くの人々が食べるものですが、人によって食べる量が異なるため残飯が多いという課題を踏まえ、残飯を別のものに作り替えて活用する方法はすごくよいと思いました。また、バイオプラスチックを作る際、失敗を繰り返しても活動を続けた姿に感動しました。フードロスや食品ロスはすぐに解決できる問題ではないと思いますが、これからもできることから少しずつ進めていってほしいと思います！頑張ってください。
- ・ 今回は、世界でも大きな課題として扱われているフードロスについて発表してかなりの注目が集まっていたと感じています。フードペーパーやプラスチックを自分たちで作ることによって、捨てられてしまった食品の有効活用方法について考え直すことが出来たのではないのでしょうか。
実際に作ってみるという活動だけでなく、それを活かした企画づくりも丁寧に行われていてとてもすごいと驚きました。また、校内の給食という身近な場所からフードロスの活動を行っていて「これからどうやって規模を広げていってSDGsに貢献する活動にできるのだろうか」と私も発表を聞いて考えてワクワクしました。皆さんの言う通り、1つ1つの積み重ねで大きな課題が解決に向かうと信じているので、皆さんがこの活動を通して得た知識を活かしてこれからも頑張ってくれることを期待しています。とてもすてきな発表でした！
- ・ フードロスは近年非常に大きな社会問題になっていて、こうしてどうしたら広まるか考えること自体がとても大事なことだと思った。フードペーパーは野菜の皮から作っていると聞いたが、皮などは廃棄するのが一般的だと思うので、廃棄すべきでないもので考えてみたらより考えが深まるのではないかと感じた。
- ・ 学校給食という食べられなかった食材が廃棄される状況を目で見て体感できる経験は大人になると少なくなる。特に廃棄の多い食材を聞いてその食材の利用について考えるプロセスは素晴らしい。になっても廃棄問題について積極的に活動してほしいと思
- ・ フードロスというずっと問題になっている課題について取り上げていることがまず素晴らしいです。そして私が驚いたのは皆さんの発想力です。牛乳パックはきっとフードロスを減らすために紙パックが主流になっているのだと思います。しかし、それを敢えてプラスチックにして、そのプラスチックをゴミにならないように改良して有効活用するという発想は自分には思いつかないものだったので、子供だからこそ思いつくアイデアなのかなと思いました。

- ・ フードロスは社会的に見ても大きなテーマの一つであり、解決策が既にいくつもあるのに実現できていない又効果が薄いという難しいテーマです。探求したその先、どう実現させていくかが腕の見せ所なので是非頑張っていきましょう。
- ・ 活動を振り返り、課題を出して次にどうしたら課題を解決できるかを考察し、実践するという過程を踏んでいるところがとても良いと思いました。今後活動をさらに発展させていくうえでも、活動外で様々な問題に直面した際にもこの過程を一つ一つ踏んで問題解決を目指していくのは非常に有効だと思うので意識して活かして欲しいと思いました。
- ・ 持続可能な社会の実現に向けて、フードロスの削減という、自分たちでも意識によって変えることができることをテーマとしている点がまずよかったと感じた。この発表を聞いたことで、自分もフードロス削減に貢献しなければという気持ちにさせられ
- ・ 給食の残量が多いことに着目し、特に残量の多かった牛乳からプラスチックを作ろうというアイデアに驚きました。また、プラスチックを作るために条件を変えながら諦めずに試行錯誤をしていることが素敵だと思いました。さらに、プラスチックを作るためには大量の酢を使うことになってしまうというネガティブな面もきちんと捉えることができている素晴らしいと感じました。
- ・ 今話題になっているフードロスの話題から持続可能な社会の実現に向けて考えられている点がよかったと思いました。フードロスは食べ物の恩恵を受けることができている私たち先進国に住んでいる人間の問題であると思うので注意深く考えていく必要があると感じました。
- ・ フードペーパーというものに行きつき、実際に紙を作り、表彰状に使用してとてもいいと思いました。また、プラスチックチームはプラスチックづくりに失敗してもやり直してなぜできないのか考え、改良して学校で使うマグネットを使うところまでできていて素晴らしいと思いました。

(教職員のみなさんへ)

- ・ フードロスなど、言葉について定義づけされていてよかった。また、リサーチクエスションの学びを生かして、自ら問いを設定している点もよいと感じた。そこから先行研究を行い、企業もやったことがないことを見付けてチャレンジしていくことで、新たな価値を創造しようとしていることが伝わった。この活動をさらに発展させるためにはどうしたらよいかを考えてはどうか。この先にある活動が、高校の総合的な探究の時間で定義されている「問題解決的な学習が発展的に繰り返されていく。これを探究と呼ぶ。」に当てはまるのではないか。学校全体のカリキュラムマネジメントをさらに進めていくとよいのではないか。